

連続講座 第2回

ソーシャルワークとは何か
～意味・役割・視点～

<復習>

1. “社会福祉”と“ソーシャルワーク”

『社会』という言葉の意味

『福祉(ふくし)』という言葉の意味

『社会福祉』=社会とのつながりの中で、人の幸せ・幸福・well-being(良い状態)を目指すこと社会福祉を達成しようとする実践活動 ⇒ ソーシャルワーク

2. ソーシャルワークの視点(1)「個人の生き方(考え)を支える」

Vulnerable(ヴァルネラブル=社会的に不利な立場の人)への関わり, 支援

⇒ 障がい 加齢 疾病 子ども 貧困 孤立 外国人 難民 など



クライアント:当事者(個人・家族)とともに, 解決に向けた支援や働きかけを行う

・解決の形(クライアントの望み)も多様

<きょうの学習>

3. ソーシャルワークの視点(2)「個人と社会環境の両方への視点をもつ」

①問題や困難を抱える「個人」と 問題や困難を生み出す「社会環境」

②環境への焦点化

③個人が抱える生活問題の背景には、「社会構造上の問題」がある

事例; a 過重労働の問題 b 児童虐待

4. ソーシャルワークの視点(3)「ノーマライゼーションの具現化」

①個人を取り巻く周囲への理解の促進とノーマライゼーション

『ノーマライゼーション』

すべての人々が一緒に, 家庭・地域の中で支えあい暮す社会が健全な社会であり, 人種・年齢・身体的条件にかかわらず, 生きたいところで生活し, やりたい仕事や社会参加ができるような機会が平等に与えられる

②社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)

→ 社会から排除されることなく, 社会とつながり, 社会の構成員を成す

③地域で安心して暮らせる環境づくり(周囲の意識, 具体的サービス, 体制など)